

調査者：井上惟嗣



- 樹 高 6m
- 幹 周 1.8m
- 枝張り 東西 7m 南北 7m

所在地：東京都西多摩郡日の出町
大久野2129

管理者：幸神社

指 定：国指定天然記念物

立地場所：幸神社境内

平成9年 (1997) 5月：診断
治療
平成10年 (1998) 10月：支柱
設置
平成13年 (2001) 2月：調査

樹木のいわれ

幸神社は建武2年(1335年)、京都の幸神を勧請してこの地に移された。この木もその時、京都から移されたと伝えられている。枝垂れているアカシデは全国的にも珍しい。樹齢700年以上といわれ、こぶのようになった幹は見事で、お椀を伏せたような樹形は優雅である。昭和17年(1942年)、国指定天然記念物。

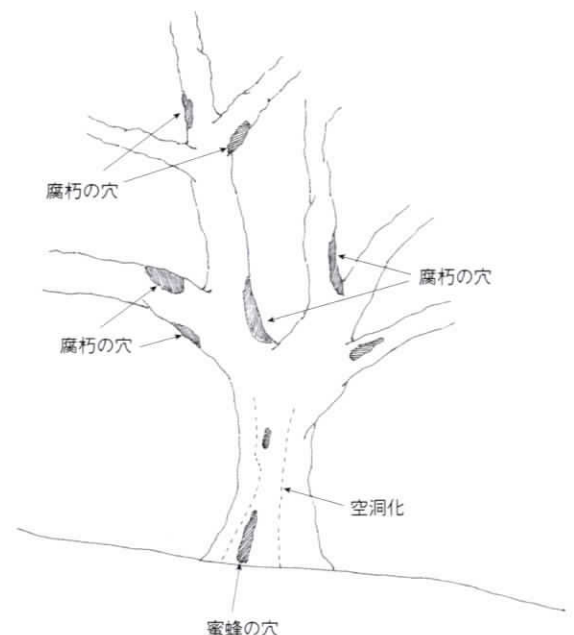
診断・治療のきっかけ

土壤が痩せてきていること、老木化して幹部が空洞化していることが、樹勢衰退の主な原因であると診断し、樹勢回復処置を行うことになった。また、南側に家が建ち、北側の杉林が高くなるなど、シダレアカシデの生育場所が谷間化し立地環境が変化してきている。

治療時の状況

治療：平成9年5月

- 樹勢衰退
- 枝は短小となり細い
- 新梢の伸長量が少ない
- 梢端、枝に枯れがある
- 枝葉の密度がやや疎になっている
- 葉が小さく、色がかなり悪い。部分的に紅葉するが色が悪い
- 落葉時期が正常よりやや早い
- 剪定後の巻き込みが著しく不良で傷口が腐朽している
- 幹に大きな空洞がある
- 大枝や幹の腐朽がかなり進んでいる



治療処置

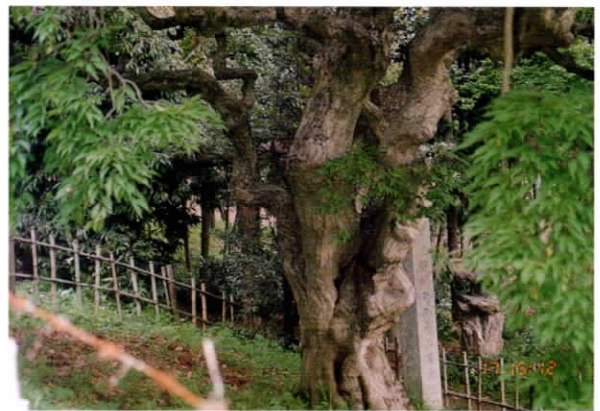
- 土壌改良、施肥
 - ・ 表層土改良
- 樹幹腐朽部の処置
〔切削、殺菌剤、充填（ウレタン）、
表面処理（フィラー材）〕
- 枯枝除去
- 白紋羽病処置
 - ・ 切除、殺菌

処置後の状況

- 枝が短小である
- 幹の腐朽が進んでいる
（平成9年の処置痕の腐朽が進んでいる）
- ミツバチの穴から雨水が浸入している
- 南側に住宅が建ち、西と北にスギが生育している
ので谷間化が進行している



幹上部の状況



樹幹の状況



支柱の状況と南側の家（平成13年2月）



根元にミツバチの出入口がある（平成13年2月）